

2月17日 「第190通常国会 政策要求実現2.17院内集会」
阿部保吉会長の主催者代表あいさつ

退職者連合「2・17院内集会」に結集されました皆さんご苦労さまです。

この集会には昨日開催しました全国事務局長会議に出席された皆さんと、中央構成組織ならびに首都圏退職者連合の代表の皆さんに多数ご参加いただいています。心から敬意を表します。

そしてご多忙な中ご出席いただきました連合をはじめ民主党・社民党の代表の皆様へ深く感謝申し上げます。

さて、本集会は、退職者連合が目指す社会保障制度ならびに税制等に対する要求の実現を求める集会であると同時に、目前に迫った参議院選挙の勝利のための退職者連合の総決起集会であります。

まず、社会保障については、年金・医療・介護の改悪を許さず、国民皆保険を将来にわたってこれを維持するには現役労働者の雇用の安定と格差の是正が不可欠であります。安倍内閣の労働者派遣法の改悪や労基法の改悪は、国民皆保険制度崩壊への最悪の道と言わざるを得ません。政府が今やるべきことは、厚生年金有資格者でありながら国民年金への加入を余儀なくされている200万人の労働者を即刻厚生年金へ加入させることです。社会保険の強制適用事業所であり当然のことです。

政府は「同一労働同一賃金」を法制化するとしていますが、抜け道だらけの実効性のないザル法になるのではないかと懸念しています。そして一方では低所得者を置き去りにした選挙対策のために「軽減税率」を導入し、また株価の大幅な下落に加え日銀のマイナス金利の導入で年金積立金に巨額の損失を与えています。こうした問題は、政治課題そのものであり国会で徹底的に追及されなければなりません。「甘利前大臣の政治と金の問題」についても口利き・賄賂性を明白にしたいと思えます。女性3大臣の失言が相次ぐ中で介護休暇を公言した自民党の男性国会議員が辞職に追い込まれています。安倍政権の数の驕りと政治の劣化が進行しつつあると言わざるを得ません。

私たちは、憲法改悪を目論む安倍政権、庶民の暮らしを顧みない自民党政治の暴走を広く国民に訴えながら夏の参議院選挙を戦いたいと思えます。もちろんその前哨戦としての北海道5区の補欠選挙、そして突然チャンスを迎えた京都3区の補欠選挙に絶対勝利しなければなりません。退職者連合は、連合の暮らしの底上げキャンペーンに積極的に参加し、二つの補欠選挙と参議院12名の連合組織内候補の必勝はもとより、選挙区選挙の推薦候補の必勝を期して戦うことを誓い合い、挨拶とします。